



玉幡小学校 学校だより 第21号

チーム玉幡

平成31年 2月14日(木)

校長 望月和彦

体力づくりに取り組む！

小中学生の体力や運動習慣の状況、経年の推移や学校ごとの課題を調査するために、全国の小中学校では新体力テスト（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）を実施しています。本校も6月に全校児童で実施していますが、その結果から「休み時間や放課後に、運動に親しんでいる時間は全国と比べても多いものの、体力テストの様々な種目の学校平均値を見ると全国や県の平均と比べ劣っている種目が多いことがわかりました。

そこで、体育主任が中心になり、体力を伸ばすために効果的な運動を紹介し、休み時間に全校で取り組ませたり（業間体育）、児童会本部や体育委員会の児童が中心になって、休み時間に外で遊ぶことを呼びかけたりしています。

1月21日の体育集会では、体育委員が縄跳びのいろいろな跳び方を全校児童に紹介して、全校児童に縄跳びの技の習得と跳べる回数アップを呼びかけました。1月28日から2月1日までは「短縄週間」と位置



づけ、休み時間に子どもたちが一人でやる縄跳びに取り組みました。「連続〇〇回跳べたよ。」「や

っとハヤブサができるようになった。」など、子どもたちは自分なりの目標を持ってレベルアップに取り組んでいました。さらに2月6日から13日までは、「長縄週間」としてクラス全体で長縄に取り組みました。短縄は、児童個々の運動能力や向上心を培うものですが、長縄は個人の体力向上ばかりでなく、励まし合ったり、上手くいくように工夫したりする中で、クラスの連帯感や思いやりの心を育てることができます。

大人になってからも運動を趣味にできるかどうかは、小さい頃の経験が大切だと言われます。休み時間には、友だちと一緒にからだを動かし、一緒に楽しみながらからだを鍛えてほしいと思います。

保育園の園児が玉小にやってきました

1月31日(木)には竜王中央保育園の年長の園児21人が本校にやってきました。昨年度はインフルエンザのために中止になってしまいましたが、保育園と小学校の連携事業として続けてきている行事です。4月から小学生になる園児たちが、実際に小学校にやってきて、小学生と一緒に遊んだり、小学校の教室や設備を見学したりします。園児のお世話は1年生が担当です。1年生は、この日のために校舎を案内する練習をしたり、園児に楽しんでもらうための遊びやゲーム、クイズや読み聞かせの準備をしたりしてきました。そして当日、園児1人に複数の1年生が担当になり、園児の手を握って校舎内の様々な教室を案内しました。後半は教室や廊下、生活科室などで、準備をしてきた遊びやゲーム、絵本やクイズなどで園



児を楽しませていました。最初は硬い表情だった園児たちも、次第に1年生と仲良くなり、笑顔で楽しんでくれたようです。終わりの会では、1年生へのお礼に園児たちが「大きな古時計」を歌ってくれました。この行事は、園児の入学への不安をなくし、小学校生活への期待をもってもらうという目的がありますが、もう一方で1年生が上級生になるための自覚を育てるという目的があります。この日の1年生の様子を見ていると、たった一日のことですが、ずいぶん成長を感じました。



児童会活動も節目です

2月1日（金）に「平成30年度まとめの代表委員会」が理科室で行われました。今年度の児童会活動を振り返り、来年度に向けて話し合う会でした。今年度を振り返ってみると、「笑顔100% かがやけ玉小パワー」のスローガンのもと、なかよし活動、チャレンジ活動、お助け活動の3つを中心に児童会活動は展開されました。それぞれどんなことをしてきたのでしょうか。

- ①なかよし活動…あいさつチェックカードやあいさつビンゴ、なかよしタイム、なかよしランチ、ゲーム集会、スマイル郵便など
- ②チャレンジ活動…毎月のめあての設定と評価、夏休みと冬休み中のチャレンジカードなど
- ③お助け活動…アフリカ救援米や赤い羽根共同募金、リサイクル活動、ゴミ0草0活動など



平成30年度の児童会本部役員

実に色々なことに取り組んできたことがわかります。それらの取り組みの中で感じたことは、福島叶望児童会長をはじめとする8人の児童会本部役員が、目立つことばかりでなく、準備や片付けなど目立たない縁の下の力持ちのような活動を楽しみながら、意欲的にやっていた姿です。玉小のリーダーとして下級生に素晴らしい手本を見せてくれました。ほんとうにありがとう。



新児童会本部企画の「6年生を送る会」についての代表委員会

さて、すでに虎谷咲良新児童会長をリーダーとする平成31年度児童会が動き始めています。最初の大きな取り組みは「6年生を送る会」となります。6年生を手本にして、さらにより良い児童会をつくっていただきます。期待しています。

今年度の学校評価及び学校関係者評価委員会

2学期末に今年度の学校運営や様々な教育活動について、教職員全員、児童全員、保護者全員に対してアンケートを実施しました。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果を分析し、成果と課題を明らかにし、来年度に向けての改善策を教職員で検討しました。その結果を1月末には「自己評価書（案）」として作成しました。

そして、2月6日（水）、学校評議員の鈴木澄雄さん、志村俊光さん、村松まゆみさん、伊藤陽子さんとPTA正副会長の河野昭彦さん、湯本幸代さん、松沼貴子さん出席のもとに学校関係者評価委員会（第2回学校評議員会も兼ねる）を開催いたしました。（伊藤さんはPTA副会長でもあり、副会長の勝村和重さんと村松麻衣子さんはご都合で欠席でした。）学校関係者評価委員会は、地域や保護者の代表である学校関係者評価委員が、教職員が行った「自己評価」や今後の改善策が適切なものであるかどうかを評価する会議です。最初に、教職員、児童、保護者に対して行ったアンケートの集計結果、それらを分析して得られた成果と課題、今後の改善策を学校側より説明したあとで、委員さん方から様々なご意見やご感想を聞かせていただきました。本校の学校運営や教育活動について肯定的な評価をいただくとともに、さらに地域に開かれた学校づくりを推進するためのアイデアなど貴重なご意見を伺うことができました。来年度の学校運営や教育活動にいかしていこうと思います。



なお、「自己評価書」及び「学校関係者評価書」は本校のホームページで公表することになっており、今年度の完成版については3月中旬にホームページにアップする予定です。